



▲学童保育指導員会での県警音楽隊の演奏（蓮池小学校）

「放課後子ども教室」の導入は

答弁＝学童保育は従来どおり

少子化対策や防犯対策だけでなく、子どもたちが主体的に学べる環境づくりという役割を担っています。「学童保育事業」と「放課後子ども教育推進事業」は、同じ敷地内で実施される時間帯も重なっていることなど、双方の位置づけが大

答弁＝松田教育長

子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりが求められている。放課後や週末などに小学校の余裕教室などを活用し、地域の方々の参画を得て、共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組みを実施する「放課後子ども教室推進事業」の導入が期待されています。

今日まで努力されてきた既存の学童保育連絡協議会の協力も大切と考えるが。



変難しい。学童保育事業は平成19年度は従来と同様に運営していきます。

自治クラブ
松本 正

「認定こども園」の導入を

幼稚園も保育所も、就学前の子どもが通う施設ですが、目的や対象者、預かり時間や負担は異なります。就学前の全ての子どもを対象に、児童教育と保育の両方を提供し、親が働いているかどうかは問わず、幼稚園のような長時間利用にも保育所のような長時間利用にも対応する「認定こども園」を本町も導入すべき。

答弁＝高橋理事

早期導入の考えはない。定員枠を超えて弾力的受け入れにより、待機児童ゼロで推移している現状では先に保育所の定員拡大をすることが優先される。

警報の整備の実態は

北朝鮮のミサイル発射や地下核実験などは60年以上前の空からの敵の攻撃「空襲」の再現を現実のものとしかねない恐ろしいもの。近未来に予想される大型地震の発生10秒前に発せられる警報の住民周知を含めた警報の整備の実態は。

答弁＝高橋理事 保護計画今年度に策定

平成16年に施行された「国民保護法」に基づく町の責務を明らかにするとともに、町民の保護に関する計画の趣旨、構成などについて定めた「播磨町国民保護計画」を今年度中に策定。大型地震の警報は地震発生10秒前で住民に伝えることはほぼ不可能と考える。



▲お互いを大切にする友達の輪（機関紙「ふれあい」より）

命を大切にする教育を

答弁＝教育活動に位置づけて推進

最近、いじめにより将来のある若い命を自らが絶つという、哀しい自殺事件の報道が連日のようにされている。いじめをなくすためには、学校教育で人を大切にする、友を大切にして命を大切にする教育は重要。現在、播磨町人権教育基本方針に基づく人権教育を学校・園において、どう実践しているのか。また、「人権を確かめあう日」の取り組みは。

答弁＝松田教育長

人権教育を、あらゆる教育活動に位置づけるため年間指導計画を作成し、幼小・中学校の人権担当者間で情報交換を行い、発達段階に即した効果的な指導法の研修を重ね、教員の資質向上を目指している。学校園での取り組みは、人権ポスター、人権標語、



住民クラブ

藤田 博

人権作文などを書くことによつて身近な人権問題を自分のこととして考える機会としている。

また、本年度から全小学校の4年生と中学校1年生全教職員、保護者にCAP研修会を実施した。「人権を確かめあう日」の取り組みは、小学校では「友達を大切にしよう日」の名称で、学級会などで人権の大切さやいじめがないか問いかけている。

学校選択制は

自分の進路に向けて本人の自覚と責任で充実した中学校生活が送れるよう、中学校の学校選択制については、教育委員会で審議しては。

答弁＝松田教育長 じゅくりに検討する

教育再生会議で話題に上

教育委員会人事は

教育長、統括及び教育機関の長の任免に関することは、教育委員会の会議に諮らなければならないとなっている。

9月26日に人事異動の内示が出されているが、なぜ9月25日に開かれた教育委員会の議題に上程されずに人事異動を専決されたのか。

答弁＝松田教育長 今後は十分注意したい

9月25日開催の教育委員会臨時会は、4人の教育委員が任命され最初の会であり教育委員長選挙、職務代理者の指名、教育長の任命を議題として開催した。臨時会終了後に、町長と教育委員会人事について協議を行ったことから専決を行った。今後は十分注意しながら進めていきたい。

がっている教育バウチャー制度との関係もあり、先進的な自治体の成果や問題点に学びながら、じゅくりに検討したい。